

防衛省による多機能な複合防衛拠点の 整備に係る住民説明会

議 事 概 要（質 疑 応 答）

令和7年3月31日に、防衛省からゾーニング最終案が示されたことから、呉市主催で多機能な複合防衛拠点の整備に係る住民説明会を開催し、防衛省担当者による説明及び住民からの質疑・応答を行いました。

- (1) 日時 令和7年4月24日（木） 19時～20時40分
- (2) 会場 警固屋まちづくりセンター 2階ホール
- (3) 対象 警固屋・宮原地区の住民及び呉市民
- (4) 参加者 205人

（内訳：警固屋・宮原地区の住民 115人、前記以外の地区の呉市民 90人）

- (5) 質問者25人の主な質問、意見等

地区	番号	質問・意見等	回答
警固屋・宮原地区	1	・このような複合防衛拠点という施設は、呉以外にあるのか。 ・自衛隊呉病院があるが、隊員だけではなく、市民の救急の受入をお願いしたい。	（防衛省） ・今のところ、このような防衛施設はない。 ・地域の医師会との関係もあるので、持ち帰り、担当部局に伝える。
	2	・この話が進むことにより、地域の活性化、経済的な波及効果により、市の発展につながると思う。 ・ソフトボール場、運動場、体育館などの地域住民が利用できる施設及び防災拠点の整備を優先してほしい。	（防衛省） ・現在、解体工事が進められているが、相当程度時間を要すると日鉄から聞いている。 ・引き続き日鉄と協議をしながら、また地元の意見も踏まえながら、調整をしていく。
	3	・ヘリコプター等の騒音問題を何とかしてほしい。ヘリポートは作ってほしくない。	（防衛省） ・防災拠点のエリアにヘリポートを整備する計画であるが、ヘリコプターを常駐配備するものではない。地域の防災などの災害派遣の際の使用を考えており、その際は、海上からの進入を考えている。 ・騒音については、迷惑がかからな

地区	番号	質問・意見等	回答
			いようしっかり検討する。
	4	・このゾーニングを見て、大喜びである。ここは自衛隊員がいないと潰れるまちである。定年退職した自衛隊員が、まちのために貢献してくれている。 ・自衛隊員の住居について、官舎だけでなく一般の住居にも住んでもらい、まちを活性化してもらいたい。 ・日新の撤退以降、渋滞がなくなった。今後、この拠点が整備されると、また大渋滞が発生してはいけけないので、交通渋滞は考慮してもらいたい。	(防衛省) ・庁舎のエリアに隊員のための隊舎を設置する予定であるが、民間の借り上げ等が必要であれば、呉市とも相談していく。 ・渋滞が生じることがないように、呉市と相談しながら検討していく。
	5	・これはもう決定事項なのか。	(呉市) ・現時点で決めているわけではない。ご意見を伺いながら、今後もしっかり検討し、判断してまいりたい。
	6	・多機能な複合防衛拠点の整備の完了時期はいつ頃なのか。 ・どのくらい費用がかかるのか、また、その費用の出所はどこなのか。	(防衛省) ・現時点でまだ解体工事が進められており、いつ完成するかは見積もることが困難である。 ・費用についても、現時点ではまだ見込めない。 ・予算の出所は防衛関係費である。
	7	・既存の施設を取り壊し、新たに建設する場合に、海風が来ないような、風の流れを考えてほしい。 ・広大な土地であり、雷が火薬庫に落ちたら大変だ。避雷針を整備し、安全性を確保してほしい。	(防衛省) ・今年度、建物の基本検討作業を行うので、このような意見も踏まえ、検討させていただく。 ・火薬庫等には、落雷を防止するための避雷針設置や作業員の静電気防止の措置を講じるなど、安全に配慮する。
	8	・民間企業や運動場の横に無人機製造整備を作るとなっているが、セキュリティをどのように考えておられるのか。 ・吉浦や切串にも燃料タンクや火薬庫があるが、これらの量を減ら	(防衛省) ・防衛施設の中なので、一定程度の区画が必要になると考えているが、今後、検討していく。 ・既存の施設は現状のまま、引き続き使用したいと考えている。

地区	番号	質問・意見等	回答
		して火薬庫を整備するのか。	
	9	・この施設ができることにより、隊員や雇用が増え、どのくらいの方が呉に移ってくるのか。	(防衛省) ・こういった部隊を置くかも含め、現時点で具体的な数字について言及できる段階ではない。
	10	・呉に多機能な複合防衛拠点を整備すると、我々呉市民が危険になる代わりに、呉市民にとってのメリットは何なのか。沖縄ばかりではなく、呉市はこれを分担し、受け持とうということであれば、何か恩恵があるのか。	(呉市) ・住民の安全と経済的なメリットは、両立させて、実現させていかなくてははいけない。 (防衛省) ・防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律に基づく施策があり、現在も呉市とは、様々な防衛施設による障害やその緩和のため、いろいろな施策に取り組んでいる。今後も呉市と相談していく。
	11	・火薬庫の整備について、地区の住民はすごく心配している。事故が起きた際の連絡体制を整えてほしい。	(防衛省) ・自衛隊の管理する火薬庫で、これまで爆発事故が起きたことはないが、地域の方に速やかに連絡が届く体制は重要なので、呉市と相談していく。
	12	・情報通信施設について、今までは研究所だったので静かだったが、車両や人の出入りについて、分かる範囲で教えてほしい。	(防衛省) ・どのような体制でこの通信局舎を運営するかは今後検討していくが、住宅街の中を通る場所なので、しっかり検討していく。
	13	・この部隊は、陸・海・空のどこがメインになるのか。 ・実動部隊ではないのか。	(防衛省) ・海上自衛隊の使用というのは想定されるが、多機能な複合防衛拠点ということと、防衛装備庁の研究機関も入るため、これからの検討の中で今後決まっていくこととなる。 ・防衛省、自衛隊に与えられている任務は、国の防衛であり、何をもって実働部隊というかは難しいが、例えば災害派遣や海外でのPKO活動などの任務が下りれば、当然ながらその任務に当たることになる。
	14	・潜水艦の修理は、わざわざ神戸まで行っているの、潜水艦の修	(防衛省) ・潜水艦を整備する会社の誘致かと

地区	番号	質問・意見等	回答
		理工場を誘致してほしい。そうすれば雇用も増えるし、自衛隊員の家族への負担も変わってくる。	思うが、持ち帰り、内部で報告する。
	15	・敷地内に官舎が建つと、その中での活動になる。敷地外の活動がないと、活気がなくなるので、できれば、借り上げ社宅等があればいい。 ・一番うれしいのは、呉市が活性化することである。民間住宅にも隊員に住んでもらいたい。	(防衛省) ・敷地内に隊員の居住する隊舎を整備する予定はあるが、敷地外の宿舎整備については今後検討していく。
	16	・火薬庫を作るにあたり、まずは土壤汚染をクリアし、その途中経過を如実に説明してほしい。	(防衛省) ・土壤汚染対策は、土地の所有者である日鉄において、関係法令に基づき適切に対応されていると認識している。
前記以外の地区	17	・呉市職員として、海を見た時に、防衛省の景色が見えるのか、それとも素敵な景色が見えるのか。	(呉市) ・瀬戸内海は多島美であり、景観に優れており、呉市は観光にも力を入れて取り組んでいる。なお、自衛隊創設以来、呉市は自衛隊とともに歩んできた歴史があり、アレイからすこじまは、観光スポットの一つになっている。海の景色と自衛隊施設は対立するものではないと考える。
	18	・呉が有事になった場合、呉市民はどこへ避難することになるのか。	(防衛省) ・国民保護措置として、警察、消防、海上保安庁などの関係機関と連携し、人命救助、住民避難の支援等の措置を実施する。
	19	・こうした施設ができることにより、危機感があるが、それを抑えるような説明や施策をしてもらいたい。	(防衛省) ・我が国に対する武力攻撃が発生しないように、抑止力を高めていく。
	20	・これだけの規模のものができるとなると、交通やいろいろなことで関連性がある。防衛省だけの予算ではなく、経済産業省など他のところの予算も含め、周辺道路の開発や無人機の開発誘致など、他の事業も巻き込んだ複合的な大き	(呉市) ・渋滞の懸念があることは、十分承知している。渋滞緩和については、国、県とも相談し、検討していく。

地区	番号	質問・意見等	回答
		なものを整備する計画はないのか。	
	21	・防災拠点というが、南海トラフを考えると、このような低地の軟弱な地盤に作ってどうするのか。装備品とあるが、どういう兵器を作るのか。何を保管し、どこに何を運ぶのか、この施設の役割を教えてほしい。	(防衛省) ・民間企業誘致のところは、防衛産業の方と相談をしているところであるが、相手方との関係もあり、具体的な内容はお答えできない。
	22	・平成30年の豪雨災害時は、呉市には自衛隊があったから、本当に市民は助かった。 ・現在、解体工事が進んでいるが、この解体を待っているのは、7～8年という期間が掛かる。解体が進んだところから少しずつ整備を始めて、少しでも早く複合防衛拠点ができればいい。	(防衛省) ・現在、解体工事が進められているが、民間誘致エリアは先行して活用できるよう、日鉄とも調整をしたい。運動場についても、日鉄としっかり協議をしていく。
	23	・防衛省が正式に跡地を購入することをまだ決定していないと認識している。正式に跡地購入が決定してから、ゾーニングを示すべきと考える。	(防衛省) ・日鉄との間で、早期に一括での売買を前提に協議を続けている状況であり、現時点で購入すると決まっているわけではない。
	24	・質問ではないが、この跡地は日鉄の土地であり、呉市のものではなく、企業を誘致するため、呉市も日鉄も努力されたと思うが、成就しなかった。そして国が一括で購入するという話になり、このゾーニングができたと思う。 ・災害が起こった際、自衛隊員は我が命を顧みず、一番先に救助活動をする。畏敬の念を持って自衛隊には接していきたい。	※意見のため回答なし
	25	・火薬庫について、何に使うためにここに必要なのか。火薬庫と聞くと怖いと感じる。できれば作ってほしくない。	(防衛省) ・自衛隊の活動基盤の一つとして、各駐屯地や飛行場に火薬庫はある。その上で、今回の複合防衛拠点においても、部隊の活動拠点として火薬庫は必要である。